

ばんえい競馬
馬主協会ニュース
第16号

発行
ばんえい競馬馬主協会
〒080-0024
帯広市西14条南9丁目1-1
帯広競馬場内
TEL (0155) 41-8818
FAX (0155) 41-8819



就任挨拶

帯広市農政部ばんえい振興室

室長 長田 中 敬 二

本年4月1日付けで、ばんえい振興室長を務めることになりました田中敬二と申します。大野会長様はじめ馬主協会の皆様には、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

私は、これまでばんえい競馬のファンとして、休日には競馬新聞を手で帯広競馬場に通り、ばんばを大いに楽しみながら応援してきました。

また、ばんえい競馬の帯広市単独開催が決まった平成18年には、帯広市東京事務所勤務として、農林水産省(競馬監督課)や総務省、テレビ局などを回りながらばんえい競馬存続と情報発信のための仕事にも携わりました。

また、前職の商工観光部では、帯広競馬場敷地内に昨年8月にオープンしました観光交流拠点施設「とかちむら」の整備にも関わってまいりました。

このように私は、「ばんえい競馬との縁」を(二方的に?)強く感じておりますし、勝馬投票券を買うことができなくなってしまう点を除けば、毎日大好きな馬と触れ合うことが出来る職務を天職と受け止め、もとより微力ではありますが全力を傾注してまいりますので、馬主協会の会員の皆様

のお力添えをいよりお願いいたします。

さて、「ばんえい十勝」は、平成19年度の帯広市単独開催以降、馬主協会会員の皆様はもとより、ばんばを愛する生産者の皆様や競馬関係者、そして全国の多くのばんえい競馬ファンに支えられ5年目を迎えることができました。

この間、馬主協会や調騎会ははじめ多くの皆様からの力強いご支援のもとに、幅広いファン層拡大のために、競馬場スタンドの完全分煙化や内外壁の塗装、キッズコーナーの設置など大規模な改修を行うとともに、パドックの移設やエキサイトゾーンの設定など、よりキサイテイキングゾーンの設置など、よりばんえい競馬を堪能していただくための整備も順次すすめてまいりました。

さらに、北海道内のばんえい競馬ファンの拡大と売上向上のために、平成21年度には旭川市と北見市の場外発売所の移転・新築を行ない、昨年度には網走に新たに場外発売所を開設することができました。

また、今や十勝の貴重な観光資源でもあるばんえい競馬との相乗効果を狙い、前記の「とかちむら」をオープンするに至りました。

迎えて、本年度は砂障害の整備と8月からは待望の3連単・3連複式勝馬

投票券が導入され、従来からのファンの期待に応えるとともに、新たなファンの獲得にもつながるものと期待しているところです。

しかし一方で、ばんえい競馬を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、馬主の皆様にも、大変申し訳ない現状にあることも事実であります。

これまでの長引く不況に3月の大震災が追い討ちをかけ、我が国の社会経済状況も混乱を続けておりますし、JRAやばんえい競馬を含む地方競馬、さらには公営競技全体が今後とも厳しい経営を余儀なくされるものと捉えております。

そうした状況下ではありますが、ばんえい競馬は、北海道開拓の歴史を今に伝える世界で唯一の貴重な地域資源であり、帯広市としても、馬生産者や馬主をはじめとする競馬関係者、そして多くのファンの強い思いに添えてまいりたいと考えております。

そこで本年5月に、ばんえい競馬の安定した経営を目指し、中長期的な継続開催に向けた検討を行なうために、馬主協会や生産者の代表、企業経営者や公認会計士などの学識経験者、公募による委員10名で構成する「帯広市ばんえい競馬検討委員会」を設置し、現在、委員により熱心な議論を重ねていただいているところです。

今後、10月末を目途に委員会から検討結果の報告を受け、帯広市として5年程度を期間とする「仮称ばんえい競馬運営ビジョン」を策定し、委員会の意見を反映してまいりたいと考えております。

考えております。

なお、今後も、帯広市としましては、前記の網走に続く、新規場外発売所の開設に向けてアンテナを高くしながら積極的に取り組んでまいりますので、馬主の皆様におかれましても、有力な情報等ございましたら是非ともお寄せいただきます。

就任のごあいさつに代えて

オッズパーク・ばんえい・マネジメント株式会社

代表取締役社長 加藤 晋 平



平素より、馬主協会の皆様には「ばんえい十勝」振興に向けての当社の取り組みに対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は、本年6月、当社代表取締役社長に就任いたしました。弊社は今年度を経営基盤強化を図る重要な年度として位置づけ、ばんえい競馬の活性化と継続を目指し、帯広市および関係各所との連携強化を推進してまいります。尚、これまで以上に地域ならびに関係者の皆様とより一層連携強化を図るべく、経営体制として新名および本川は本店所在地である帯広に常駐し、地域に根ざした活動を継続してまいります。若輩ではございますが「ばんえい十勝」の発展を皆様と共に進めて行く所存でございます。なにとぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新生ばんえい競馬帯広単独開催の「ばんえい十勝」は今年で5年目を迎えます。

存続の危機を乗り越え本来であれば安定的な経営への時期となる計画でしたが、昨今の不況から日本経済は冷え込み、公営競技もその影響を受け売上が縮小傾向にあります。また、この3月11日に100年に一度と言われる大災害が東日本に発生しその爪あとはまだ色濃く残っています。この影響を受けレジャーと

せくいただきますようお願い申し上げます。

結びになりますが、社団法人ばんえい競馬馬主協会の益々のご発展と会員各位のご健勝を心よりお祈りし、就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

観光拠点として定着し、2010年度地方競馬全体では来場者数が前年割れを起こす中、「とかちむら」開設以降の「ばんえい十勝」の入場者は前年比120%増となりました。

さらなる売上向上策として、2010年9月には、網走に直営の場外発売所を新設いたしました。また本年度8月には地方競馬主催者による共同トータルゼータシステムの導入に伴い、ばんえい競馬でも三連複式馬券の導入を開始いたしました。

「ばんえい十勝」を安定的に継続していくためには、施策の着実な推進と更なる施策の検討が必要な状況にあります。当社としても、コスト削減の両面で施策を検討してまいります。状況は決して楽観的なものではありません。

これを打破するためには、主催者である帯広市はもちろんです、馬主協会の皆様および既舎関係者や生産者など、全ての関係者のご協力を得ながら共に検討していくことが必要不可欠です。

本年度、帯広市では「ばんえい競馬検討委員会」が編成され検討が開始されております。十勝帯広の地域にとつて「ばんえい十勝」とは、単なる公営競技ではなく、北海道の重種馬産を支えている産業であり、開拓の歴史を今に伝える貴重な馬文化であり、世界で唯一を誇れる観光コンテンツではないでしょうか。「ばんえい十勝」の価値を地域全体でご理解、ご共有いただいた上で、帯広市が強いリーダーシップを持って地域の活性化、成長戦略において「ばんえい十勝」の有用性や活用方法の方針を明確に示されることを期待してまいります。

「ばんえい十勝」が帯広市にとって有用となり、将来のビジョンが示されたい際には関係者の一員として皆さんと共にビジョンの実践に邁進していく所存です。

「ばんえい十勝」の安定的な継続に向け、倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

観光拠点として定着し、2010年度地方競馬全体では来場者数が前年割れを起こす中、「とかちむら」開設以降の「ばんえい十勝」の入場者は前年比120%増となりました。

さらなる売上向上策として、2010年9月には、網走に直営の場外発売所を新設いたしました。また本年度8月には地方競馬主催者による共同トータルゼータシステムの導入に伴い、ばんえい競馬でも三連複式馬券の導入を開始いたしました。

「ばんえい十勝」を安定的に継続していくためには、施策の着実な推進と更なる施策の検討が必要な状況にあります。当社としても、コスト削減の両面で施策を検討してまいります。状況は決して楽観的なものではありません。

これを打破するためには、主催者である帯広市はもちろんです、馬主協会の皆様および既舎関係者や生産者など、全ての関係者のご協力を得ながら共に検討していくことが必要不可欠です。

本年度、帯広市では「ばんえい競馬検討委員会」が編成され検討が開始されております。十勝帯広の地域にとつて「ばんえい十勝」とは、単なる公営競技ではなく、北海道の重種馬産を支えている産業であり、開拓の歴史を今に伝える貴重な馬文化であり、世界で唯一を誇れる観光コンテンツではないでしょうか。「ばんえい十勝」の価値を地域全体でご理解、ご共有いただいた上で、帯広市が強いリーダーシップを持って地域の活性化、成長戦略において「ばんえい十勝」の有用性や活用方法の方針を明確に示されることを期待してまいります。

「ばんえい十勝」が帯広市にとって有用となり、将来のビジョンが示されたい際には関係者の一員として皆さんと共にビジョンの実践に邁進していく所存です。

「ばんえい十勝」の安定的な継続に向け、倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

観光拠点として定着し、2010年度地方競馬全体では来場者数が前年割れを起こす中、「とかちむら」開設以降の「ばんえい十勝」の入場者は前年比120%増となりました。

さらなる売上向上策として、2010年9月には、網走に直営の場外発売所を新設いたしました。また本年度8月には地方競馬主催者による共同トータルゼータシステムの導入に伴い、ばんえい競馬でも三連複式馬券の導入を開始いたしました。

「ばんえい十勝」を安定的に継続していくためには、施策の着実な推進と更なる施策の検討が必要な状況にあります。当社としても、コスト削減の両面で施策を検討してまいります。状況は決して楽観的なものではありません。

これを打破するためには、主催者である帯広市はもちろんです、馬主協会の皆様および既舎関係者や生産者など、全ての関係者のご協力を得ながら共に検討していくことが必要不可欠です。

本年度、帯広市では「ばんえい競馬検討委員会」が編成され検討が開始されております。十勝帯広の地域にとつて「ばんえい十勝」とは、単なる公営競技ではなく、北海道の重種馬産を支えている産業であり、開拓の歴史を今に伝える貴重な馬文化であり、世界で唯一を誇れる観光コンテンツではないでしょうか。「ばんえい十勝」の価値を地域全体でご理解、ご共有いただいた上で、帯広市が強いリーダーシップを持って地域の活性化、成長戦略において「ばんえい十勝」の有用性や活用方法の方針を明確に示されることを期待してまいります。

「ばんえい十勝」が帯広市にとって有用となり、将来のビジョンが示されたい際には関係者の一員として皆さんと共にビジョンの実践に邁進していく所存です。

「ばんえい十勝」の安定的な継続に向け、倍旧のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

馬主協会第十六回通常総会開催

当協会第16回通常総会は、平成23年4月14日帯広市内のホテル日航ノースランド帯広において開催。当日出席された正会員の中から議長として、道北ブロック中富良野町の安喰武雄様が選任され、また、議事録署名人として、道東ブロック音更町の浅倉 功様と同じく道東ブロック帯広市の桑田 壽様が選出されました。審議事項は次のとおりで、全て原案のとおり議決承認をいただいております。

- 議案第1号 平成22年度事業報告書の承認について
- 議案第2号 平成22年度収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録等の承認について
- 議案第3号 平成23年度事業計画書(案)の承認について
- 議案第4号 平成23年度収支予算書(案)の承認について
- 議案第5号 平成23年度入会金及び会費・負担金(案)の承認について
- 議案第6号 役員を選任について

ために、絶大なるご理解とご協力を賜り、ここに改めて厚くお礼申し上げます。東日本大震災の発生から一ヶ月が経ちました。戦後最大の国難ともいわれる被害に見舞われた被災地の方々には、謹んでお見舞いを申し上げます。すとともに、こののちも、国、地域、社会を挙げ、また、それぞれの立場、それぞれ分野においても復興支援のためやれることを自らができることにより、この苦難を乗り越え一日も早い我が国の復興を願うばかりであります。

さて、ばんえい十勝も5年目という節目の年を迎え、いよいよ明後日より開幕の運びとなりました。年々減少する発売額に歯止めがかからず、景気回復もままならない中で、今回、未曾有の災害の影響を抱え、申し上げるまでもなく、現実是一段と厳しい状況下においてのスタートとなりますが、気持ちも新たに皆様の愛馬に夢と希望を託し、ばんえい十勝の更なる飛躍を期待するものであります。昨年度は、帯広市から当協会が緊急雇用創出推進事業により、業務委託を受け実施して参りました、「ばん馬まるだし市業務」についても、その命題でありました、ばんえい競馬と帯広競馬場敷地内に開業した観光交流施設「とかちむら」をはじめ他団体、地域企業などと連携した様々な集客イベントを行うことにより、観光客など新たなファン拡大にも繋がっており、賑わいの場をつくりだすことができましたと確信いたしております。

近年、公営競技の成績を見ますと、通信手段の発達に伴い、電話・インターネットによる在宅投票の発売額が年々増えてきております。ばんえい十勝も発売額の推移を見ますと、顕著な伸びを示しておりますが、今後益々その発売額に依存せざるを得ない傾向が強く、電話・ネットでの発売額も、昨年度は初めて本場の発売額を上回り、いよいよ全体の3割に近づく勢いであります。そのような中で、今年度は、馬券の発売情報をコンピュータで一元化する「共同トータルリーダーシステム」の導入が予定されており、ばんえい競馬においても、本年8月上旬からはファンが待ち望んでいた3連単、3連複の発売を開始することと伺っております。このことにより、競馬ファンの拡大や他主催者との連携による発売の拡大が期待されております。また、25年4月以降は、ばんえい十勝によるJRA発売についても検討されているようにございます。

更に、昨年度の競馬開催終了後、本走路の砂を全面入替するのに併せて、ゴール40メートル手前からゴールに向かって約50センチの勾配をつけることにより、ゴール際の迫力あるレースを演出するコースに改修を行ったところでございます。このように、新たな振興策を着実に実施し、こののちも積極的かつ果敢に新たな取組みを実施していかなくては、現在の発売額を維持することすら困難であります。

また、皆様には既にご案内のとおり、帯広市から、今年度は、ばんえい競馬の継続的、安定的な運営のあり方について検討するための委員会を新たに設置するとお伺いしております。安定した継続的な事業の将来像を如何に明確に示すことができるかが重要であり、その本質的な議論をする場であり、その本質的な議論を強く望んでおります。馬主としては、ばんえい十勝となつてからの4年間、一年、一年の開催表明の中、競馬の存続のため、何とか競走馬を持ち続けることで、ばんえい十勝に協力して参りました。これから先、競走馬を持ち続けるには、一段と厳しい状況下にある現実であります。このままでは、ますます競走馬の減少が懸念されますし、これ以上の減少は致命的なものとなりかねません。その懸念を払拭するためにも、米沢市長のリーダーシップのもと、何とか、一日も早く、その方向性を見出し、持続的に安定経営できる仕組みづくりを願うばかりであります。

最後に参りますが、会員各位におかれましては、何卒、ばんえい十勝に對しまして、今までも増してご支援とご協力を切にお願い申し上げます。また、本日「臨時の皆様益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。第16回通常総会の開催にあたりご挨拶いたします。本日は誠に有難うございます。

ご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。本年3月の東日本大震災によりまして、多くの方々の尊い命が奪われたことに衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々からお見舞いを申し上げる次第でございます。ばんえい十勝におきましては、騎手をはじめ競馬関係者が今、一丸となつて、街頭や、それから競馬場で義援金を募るなど、被災地の日も早い復興を祈念し復興支援活動を行つて参りました。また、開幕の4月16日、17日は、震災復興支援シリーズとしまして、期間中の売上の一部を義援金として寄附をさせていただき予定でございます。

昨年度のばんえい競馬の売得金額は、前年比98.5%の105億6,290万円でございます。地方競馬全体で見ますと、前年比91.7%という厳しい結果でございます。このようにばんえい十勝は、厳しいながらも関係者の皆様のご協力によりまして、結果を残すことができました。私どもといたしましても世界で唯一ここにしかない競馬でございます。何よりも北海道の開拓の歴史を作り上げてきた馬文化をばんえい競馬を通じて後世に引き継いでいくことが、全国からの観光客を呼び込むことができる貴重な観光資源としても今定着しつつございまして、先程のご紹介をいただきましたけれども、8月にオープンいたしました「とかちむら」私ども、観光交流拠点施設というように方々をしております。まして、前年度を2割上回る約25万人と多くのお客様にご来場を頂くことができました。

一方、競馬は何よりも競走馬の確保が生命線でございます。ばんえい競馬を根幹から支えていただいておりますのは、馬主の皆様であります。改めまして厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご協力、ご支援申し上げる次第でございます。今年度のばんえい競馬におきましては、ご案内のように三連勝賭式の発売により新たなファンの獲得。他主催者との連携によります発売の拡大、競走馬の確保策といたしまして、地方競馬全国協会の新馬流通促進対策事業を活用させていただきまして、2歳新馬競走のうち、14競走につきまして、1着から5着までの入賞馬の馬主に対して特別付加賞金を支給いたします。そのような運びになってまいります。

また、競馬場の本走路につきましても、先程もこれのご案内にございましたが、砂の全面入替、それからゴール前に勾配をつけた砂障害を設置いたしました。より迫力のあるゴール前の接戦を是非ファンの皆様にご提供をしたい。かように考えているところでございます。私ども主催者として、このように取り組みによりまして、競馬の安定経営を目指して参りたいと思っております。どうか馬主の皆様におかれましては、競走馬の確保は、もとよりでございますが、ファンの拡大におきましても、お力添えをいただきたいと思います。このばんえい競馬が将来に向かいます。末永く繁栄して行きますように、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に参りますが、本日の総会が盛会裏に終了されますこと、そしてご出席の皆様のご厚生、そしてご健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

会長挨拶要旨

本日、ここに第16回通常総会を開催するにあたり、時節柄何かとご多忙中にもかかわらず、会員の皆様には多数ご出席を賜り、また、来賓として、帯広市長の米沢則寿様、この4月に着任されました新しいばんえい振興室長の田中敬二様には、公務ご多端の折、繰り合わせ本総会にご臨席を賜り誠に有難うございます。また、会員の皆様には、日頃より当会の事業推進と円滑な会の運営の

来賓挨拶要旨

帯広市長 米沢 則寿様
只今、ご紹介をいただきました帯広市長の米沢でございます。平成23年度のばんえい競馬馬主協会総会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。馬主の皆様には、日頃からばんえい競馬の発展振興に多大なるご支援

ご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。本年3月の東日本大震災によりまして、多くの方々の尊い命が奪われたことに衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々からお見舞いを申し上げる次第でございます。ばんえい十勝におきましては、騎手をはじめ競馬関係者が今、一丸となつて、街頭や、それから競馬場で義援金を募るなど、被災地の日も早い復興を祈念し復興支援活動を行つて参りました。また、開幕の4月16日、17日は、震災復興支援シリーズとしまして、期間中の売上の一部を義援金として寄附をさせていただき予定でございます。

また、皆様には既にご案内のとおり、帯広市から、今年度は、ばんえい競馬の継続的、安定的な運営のあり方について検討するための委員会を新たに設置するとお伺いしております。安定した継続的な事業の将来像を如何に明確に示すことができるかが重要であり、その本質的な議論をする場であり、その本質的な議論を強く望んでおります。馬主としては、ばんえい十勝となつてからの4年間、一年、一年の開催表明の中、競馬の存続のため、何とか競走馬を持ち続けることで、ばんえい十勝に協力して参りました。これから先、競走馬を持ち続けるには、一段と厳しい状況下にある現実であります。このままでは、ますます競走馬の減少が懸念されますし、これ以上の減少は致命的なものとなりかねません。その懸念を払拭するためにも、米沢市長のリーダーシップのもと、何とか、一日も早く、その方向性を見出し、持続的に安定経営できる仕組みづくりを願うばかりであります。

最後に参りますが、会員各位におかれましては、何卒、ばんえい十勝に對しまして、今までも増してご支援とご協力を切にお願い申し上げます。また、本日「臨時の皆様益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。第16回通常総会の開催にあたりご挨拶いたします。本日は誠に有難うございます。

また、競馬場の本走路につきましても、先程もこれのご案内にございましたが、砂の全面入替、それからゴール前に勾配をつけた砂障害を設置いたしました。より迫力のあるゴール前の接戦を是非ファンの皆様にご提供をしたい。かように考えているところでございます。私ども主催者として、このように取り組みによりまして、競馬の安定経営を目指して参りたいと思っております。どうか馬主の皆様におかれましては、競走馬の確保は、もとよりでございますが、ファンの拡大におきましても、お力添えをいただきたいと思います。このばんえい競馬が将来に向かいます。末永く繁栄して行きますように、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に参りますが、本日の総会が盛会裏に終了されますこと、そしてご出席の皆様のご厚生、そしてご健勝を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

【別紙】平成23年度新馬導入推進助成 配分競走数(案) 【2010年地方競馬デビュー2歳頭数を算出基礎】(平地各主催者に5Rずつ基礎配分、残りの130Rをデビュー頭数に比例し追加配分)

Table with 7 columns: 地方デビュー2歳頭数(*), 比率, 130R案分率, 小数点1位四捨五入, 基礎分5R, 合計. Rows include 北海道, 岩手, 浦和, 船橋, 大井, 川崎, 金沢, 笠松, 名古屋, 兵庫, 福山, 高知, 佐賀, 荒尾, 計, and ばんえい.

(*)2010年に地方所属としてデビュー(出走)した2歳馬実頭数
・JRA既走後、中央登録抹消した後に地方デビューした馬を含む。
・現役JRA所属馬は含まない。
・出走取消、競走除外は含まない。

Table with 7 columns: 賞金交付率, 競走種別, 付加賞金 (1着, 2着, 3着, 4着, 5着, 合計). Rows include 北海道, 岩手, 浦和, 船橋, 大井, 川崎, 金沢, 笠松, 名古屋, 兵庫, 福山, 高知, 佐賀, 荒尾, ばんえい.

*各主催者の賞金交付率は、2歳競走における総交付率が最も高い競走を参考
*ダートグレード競走・交流重賞は除く
注：2010年ばんえい競馬デビュー2歳頭数は219頭である。

平成23年7月12日

地方競馬全国協会
理事長 仲田 和雄様
社団法人 ばんえい競馬馬主協会
会長 大野 清二

【陳情趣旨及び理由】

貴協会が平成23年度、24年度の2か年における時限的事業として、今年度より新たに実施された「新馬流通促進対策事業」について、ばんえい競馬の主催者である帯広市から事業概要の説明を受けた当初、付加賞金(副賞)の単価を下げ、多くの競走を対象とすることができないか、帯広市へ要請した経緯があります。

加えて、本年3月28日(社)日本馬事協会招集の農用馬生産振興北海道ブロック会議に於いて、貴協会に対して同様の申し入れをしたところ、貴協会畜産振興部部長の佐野 佳久様から23年度事業は変更できないが、次年度について前向きにご検討いただけるとの回答を得ています。

また、当該事業の当初計画書の段階では、平地地方競馬14主催者が対象であり、ばんえい競馬は当該事業の対象外で帯広市の要請により追加の措置が講じられたと伺っており、別紙「平成23年度新馬導入推進助成配分競走(案)」の配分方法を見ても経緯は明白であります。

つきましては、次年度の当該事業実施にあたり、改善を要請するものです。

【陳情事項】

- 1 貴協会の事業について、取り分け競走馬に関する補助事業等の実施にあたっては、各地方競馬の於かれている状況を勘案するとともに、平地、ばんえい競馬の分け隔て無く、より公正かつ公平な事業の遂行に努められたい。
2 24年度の当該事業実施にあたり、各地方競馬主催者の実情に鑑み、2歳新馬の早期入厩促進に加えて、出走頭数の少ない春先の一定期間における出走頭数を維持確保するため、これがより効果的に幅広く運用できるよう、助成の対象となる競走数及び付加賞金(副賞)の額については、交付額の範囲内に於いて各主催者が決定できるよう改善していただきたい。
3 23年度における配分競走数の算出方法については、ばんえい競馬だけが異なり、結果として競走数が少なく配分されたと認識しております。このことは、他地方競馬主催者と比較して著しく公平性を欠くものであります。よって他地方競馬主催者同様の方法で算出し直し、この差額相当額を次年度の交付額に加算されたい。また、24年度に於いては、この算出方法を同様に改善していただきたい。

「新馬流通促進対策事業に関する陳情について」

【陳情先及び対応者】

地方競馬全国協会

副理事長 雨宮 敬徳 (審査、公正担当)

理事 酒井 俊夫 (企画、活性化推進、広報情報担当)

理事 飯田 道夫 (農水省から出向) (総務・経理、畜産振興、監査・教養センター担当)

企画部長 上手 邦夫

畜産部長 佐野 佳久

【地方競馬全国協会の見解】

地方競馬全国協会としては、ばんえい競馬に関して、他地方競馬に比べ、生産者兼馬主が多いと認識しており、これまでもばんえいに対する生産振興には、平地競馬以上に様々な助成を行っている。

当協会は、地方競馬全てが同じという考えではなく、それぞれの置かれている状況や事情に応じて施策を行っている。その中に於いて、今回、当該事業を実施することとなった経緯については、日本地方競馬馬主振興協会(日馬振)から、地全協及び農水省競馬監督課に新馬導入に対する支援の要請を受け、今年度新馬導入助成事業として実施することとなった。

基本的には、平地地方競馬における新馬を確保することが目的であり、2歳育成費の補助という形で行う。従って、当初、ばんえいが対象になつていなかったのは、このような経緯からであり、事業の主旨をご理解いただきたい。

結論としては、平成24年度に向けて、算出方法の見直しや交付額の上積みは出来ない。ただし、大枠の中であれば、1着50万円の付加賞金額についても、ばんえい競馬にとって、幾らかの金額にすれば、効果的な活用ができるのかについては、主催者とよく検討してください。

ばんえい競馬 賑わい創出事業展開

社団法人ばんえい競馬馬主協会 イベント統括マネージャー 青山 祐子

帯広市緊急雇用創出推進事業の委託業務として、私が同協会に係わって1年半がたちました。

平成22年7月1日から平成23年3月31日までの9ヶ月間は、帯広競馬場に広域的な集客と賑わいの場を創出するため「とちむら」はじめ、地域企業並びに競馬関係団体と連携しながら、ばんえい競馬の普及啓発と勝馬投票券の販売促進を図るための広報活動やイベントを行う事業を実施致しました。

スタッフ自らが企画立案することからスタートして、夏休みファミリーイベント、とちむらオープニング、JRAジュンキーDay、さらにもバラフェスタ、秋化祭、Xmas、お正月イベント、競馬場冬まつり、とちむら春まつりなど、とちむらと競馬場の両方で楽しんでもらえる様々な大型イベントを中心として取り組んで参りました。

お陰様で、対前年比123.6%と、本場への集客率がアップし、イベントで新たなお客様を呼び込み、ばんえい競馬の魅力や魅力を伝えるという目的は達成できたと自負しております。

さて、本年度はサポーター、マネージャーなど、昨年の半分の人数5名体制で4月1日からスタートを切りました。

最初の2ヶ月間はスタッフの入れ替えや、1周年に向けてのイベントを企画し、年間の大規模イベントスケジュールも作成しました。また、6月中旬に実施した、とちむらもフェスタでは、今年度の方向性を見極めるため、アンケート等市場調査による現状把握をした結果、とちむらに来場する客層と、競馬場に来場する客層が大きく2分化している事に気づきました。一方で馬券の売上には直接的につながらないのではなからという現実を直視し、全体会議を幾度となく繰り返して7月からの事業方針を大きく転換することに致しました。

外に向かつて広報を展開するのではなく、「競馬場に来た方も何かをやっていく。」初めて来場された方にも親切に声を掛けて対応してくれる、「精一杯のサービスする心」を大切にお客様と接する

事を心掛け、とちむらレシートを競馬場のピギナーコーナーに持参してもらうと馬券購入券が当たるハピネスチケットイベントを実施する等、地味ではありますが、着実にファンを増やしていく、そして何よりも初めての方にばんえい競馬の楽しさ方を伝えるというサポーター本来の存在意義という原点に戻って、現在活動をしております。

具体的には、とちむらに訪れたお客様を競馬場になが役割の担い手としてばんえい競馬の魅力そのものを直接会話することによって、本場での売上向上に至る勢力を注ぐという目標を掲げ、実践しております。

前述の「ハピネスチケット」や、5000円以上の確定前馬券を特設ピギナーコーナーで提示いただいたら、特製ポストカードを3枚プレゼントする「ポストカードプレゼント」や、従来とは違うアプローチで馬券の種類や購入方法に加え、見どころや楽しみ方、騎乗する騎手や競走馬の特徴など、ばんえい競馬の魅力発信し、馬券の販売促進を図っています。

○「ハピネスチケット」「ポストカードプレゼント」参加者一覧

Table with 5 columns: 日付, 項目, ハピネスチケット, ポストカードプレゼント, 特設ピギナーコーナー. Rows include dates from 7/17 to 7/31 and a total row.

とちむらも8月6日で1周年を迎え十勝の観光スポットとして認知度を高めるイベントを行いながら、競馬場敷地内全般に観光客で賑わいを創出し、お客様に楽しんでいただく、さらに馬券の購入に直接つながる顔の見えるファンを作り出していくことが、サポーターの今年の使命と考えています。

今後は、8月22日のJRAジュンキーDayや、10月下旬の道東道開通イベントに向けて少数精鋭でも数字(売上)に貢献出来る事業展開を図っていこうと思っております。

平成23年度 ばんえい競馬前半戦の重賞競走

Table for the 5th Ban'ei Jockey Club Cup (BG2) race, held on April 17th. It lists 10 horses with their respective jockeys, trainers, and owners, along with race times and prize money.

Table for the 42nd Kikuchi Kinen (BG3) race, held on June 19th. It lists 8 horses with their respective jockeys, trainers, and owners, along with race times and prize money.

Table for the 5th Hara Kinen (BG3) race, held on June 26th. It lists 10 horses with their respective jockeys, trainers, and owners, along with race times and prize money.

Table for the 19th Hokkaido Kinen (BG3) race, held on July 17th. It lists 10 horses with their respective jockeys, trainers, and owners, along with race times and prize money.

Table for the 23rd Hamanazu Kinen (BG3) race, held on August 7th. It lists 10 horses with their respective jockeys, trainers, and owners, along with race times and prize money.

平成23年度 ばんえい競馬 投票所別発売成績

平成23年度該当開催 [ばんえい競馬第1回1日目 ~ ばんえい競馬第9回3日迄 計50日間]
平成22年度該当開催 [ばんえい競馬第1回1日目 ~ ばんえい競馬第9回5日迄 計50日間]

平成23年8月8日終了時

Main table showing ticket sales performance by district. Columns include district name, number of days, sales amount, and comparison with the previous year. It is divided into sections for direct sales, phone voting, and various districts.

☆各対比は小数点以下第3位を四捨五入とし、1人当たり購買額は小数点以下を切り捨てる ☆入場人員に電話投票及び広域は含まない

平成23年度 ばんえい振興策の進捗状況について

提供：オッズパーク・ばんえい・マネジメント(株)

本年度は、共同トータリゼータシステムの導入により、新賭式三連勝単式(三連単)、三連勝複式(三連複)の発売を開始し、同時に直営場外発売所での場外発売拡充を行います。

また、魅力あるレースを目指し、開催日程、番組の充実、競馬場本走路の整備を実施します。加えて、新たなファンの獲得を目指し観光施設としての「ばんえい十勝」を確立する施策を実施すると共に、既存ファン、新規ファンへ向けたターゲット別のプロモーション施策を行い、来場者増、売り上げ増を図ることを目指してまいります。

1.共同トータリゼータシステム導入

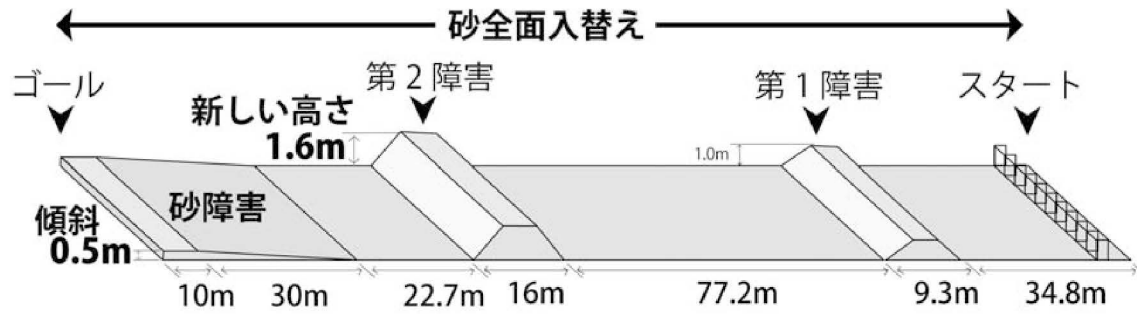
- 三連単・三連複の導入(8/6よりスタート)
 - 高配当の期待や馬券の魅力拡充による売上拡大を図る
- 場外発売所の拡充(8/5よりスタート)
 - 直営場外発売所での他場発売拡充によるファン層の拡大、売上増加
- マークカードの刷新(8/5よりスタート)
 - 馬券購入利便性の向上による売上拡大
- 馬券の券面表示拡充(8/5よりスタート)
 - ファンの要望実現によるファンの満足度向上

2.開催日程・番組の充実

- 開催日程の増加
 - 開幕を一週早め、昨年度より年間開催数を二日増加の153日開催とする
- 軽量戦をシリーズ化
 - 年間通したシリーズ戦として軽量戦を実施

3.競馬場本走路の整備

- 冬季間を除き、ゴール前に傾斜0.5mの砂障害を設置
 - ゴール前のエキサイティングな接戦によるレースの魅力増
- スタートからゴールまでの砂の全面入れ替えを年2回実施
 - パワー競馬実現と雨天時の中止リスク回避



4.ターゲット層別のプロモーション施策

- 馬主
 - ・馬主協会会員様向けの施策実施(施策検討中)
 - ・馬主協会会員様向けプレミアムラウンジ優先席の設置
- 既存ファン
 - ・競馬場で各種抽選会の実施
 - ・各直営場外発売所でイベント実施
 - ・レースに関する情報提供の拡充
 - ・来場促進施策・プロモーションの実施
- 新規ファン
 - ・道外・札幌圏からの観光客の来場誘導施策の実施
旅行代理店タイアップ、札幌圏・道外でのPRイベントの実施
 - ・レジャー目的来場誘導施策の実施
地元企業等とのタイアップ施策実施
季節イベントの実施、とかちむら連動施策の実施

- ・レジャー利用者の馬券購入誘導
ピギナーフォロー施策、ピギナー向け抽選会の実施
- ・とかちむらも絡めたばんえい十勝のTVCMの放映等のプロモーション実施(8月開始)

5.帯広競馬場の施設充実

- ふれあい動物園の施設拡充
- 帯広競馬場施設内での外向け看板の新設

6.場外発売所の発売拡充

- ばんえい非開催日を含み南関東発売拡充
 - ・発売箇所・レース数・賭式の拡大

7.広域場外発売の拡充

- 委託発売の拡充

主催者	月日(日数)	売得金額
岩手	6/12・20・27、7/11・25、8/1	3,354,700
福山	7/11	216,500

- ・今後の上半期発売予定(～9月)
8/13福山、8/14大井、8/20川崎・福山、8/22岩手

8.お客様のニーズを的確に捉えた施策の実現

- アンケート実施
 - ・5月：ライトファン向けアンケートの実施
ライトファンの来場・購入動向を調査し施策検討材料とする
 - ・9月：コアファン向けアンケートを予定

9月～12月のイベント計画について

Table with 8 columns: 月, 日, イベント, 場所, 月, 日, イベント, 場所. It lists various events and venues from September to December.

※現時点での予定のため変更の可能性があります。

今年度のナイター開催は、6月18日から10月10日までの期間で、昨年同様51日間開催します。ナイター開催期間中は、概ね第1レースが午後2時30分発走で、最終レースは20時40分の発走となります。

ナイター開催による効果について

帯広市ばんえい振興室

○デイ開催とナイター開催のインターネット投票発売額のレースごとの割合 (第7回終了時、オッズパークのみ) (単位:%)

Table showing the percentage of internet ticket sales for each race type (1R to 12R) for Day and Night events.

○デイ開催とナイター開催の1日平均発売額比較 (第7回終了時、五重勝除く) (単位:円)

Table comparing the average daily ticket sales for Day and Night events.

編集後記

事務局から

今年は雨に降られた開幕で前半は天候不順が続きましたが、ナイター開催になってからは、天候に恵まれ、入場者数が前年比平均割増になりました。

かわらず、若馬たちに圧倒的な強さで勝利を勝ち取る姿に、たくさんの方が感銘をうけたのでしよう。



会員のおくやみ

- List of deceased members with their names, addresses, and dates of death.

会員のおくやみ

- Continuation of the list of deceased members.